

## 「お母さんの迷い」

1-(1) 節度・節制・思慮反省

## 1 題材名 「お母さんの迷い」

## 2 題材について



近年、携帯電話は生活のあらゆる場面に利用され、その使用方法は通話だけでなく、メールや多様なサイトの閲覧など、多岐にわたっている。また、子供たちにも急速に普及しており、コミュニケーションをとったり、様々な情報を得たりする身近なものになっている。

しかし、一方で悪質な情報の氾濫や、インターネットの悪用による犯罪などの問題も指摘されており、子供たちの身近な生活に危険な情報があふれていることも事実である。小学校高学年から中学生にかけて、これらに関する知識や警戒心が希薄なまま、出会い系サイトなどを利用してしまふことによる性犯罪被害が急増している実態もある。

そこで、携帯電話への関心が高まってくるこの時期に、携帯電話の利便性の陰にある危険性について知るとともに、その使い方のマナーやルールを正しく理解し、直面する様々な問題に対して適切に行動できる態度を培うことを目指し、本題材を設定した。


## 3 目 標

携帯電話には、利便性と危険性があることを理解し、自ら適切に判断して使おうとする態度を身に付ける。

## 4 教科、領域等の内容的関連

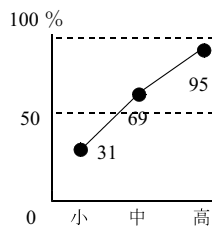
- (1) 道 徳 3 - (2) 「自他の生命尊重」
- (2) 総合的な学習の時間 「情報教育」

## 5 指導展開例

	教 師 の か か わ り	子供の思考の流れ・学習活動	留 意 点
導 入	<p>携帯電話について、どんなイメージをもっていますか。</p> 	<p>携帯電話についてのイメージを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつでも電話できるから便利</li> <li>・メールをしてみたいな</li> <li>・持っているとかっこいい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話を所有している子供が特定されないように配慮する。</li> </ul>

導

グラフから気付いたことを発表していきましょう。



資料を読みましょう。

まる子が携帯電話を持ちたいのはなぜでしょう。

グラフから、小、中、高の所有率を比べる。

- ・中学生になったら持っている人が増えるんだね...



資料を読む。

まる子の気持ちを考える。

- ・夜、塾に行く時安心だし、便利だから
- ・やっぱり自分専用が欲しいんだな

- ・グラフを提示する。携帯電話を所持することを助長することのないよう配慮する。

(資料2)

- ・読み物資料を配付する。(資料1)

入

**迷っているお母さんの気持ちを考えてみよう。**

お母さんが迷っているのはなぜでしょう。

自分がお母さんの立場だったら、どうするでしょう。



いろいろ迷って、お母さんはまる子専用の携帯電話を用意しました。どんな気持ちからでしょう。

最後に手渡す時に、まる子に話を続けました。どんな声をかけたでしょう。

お母さんの気持ちを考える。

- ・もう中学生だから持たせようと思った
- ・でも、あんな事件のニュースを見ても、心配になったんだよ...
- ・他にも心配なことってあるよね...

自分がお母さんだったらどうするか考える。

- ・持たせる
  - ～いつかは持たせるのだから
  - ～自分の子供だから信用して
- ・持たせない
  - ～悪い人に何かされると心配
  - ～もう少し後からでも

持たせることにしたのはなぜかを考える。

- ・まる子を信頼したから
- ・安全のためには必要だから
- ・まる子に、危険についても説明する学習カードに記入する。
- ・使い方を間違えてこんな事件に巻き込まれた子もいるのよ
- ・やってみたい気持ちを抑えるのも大切

- ・携帯電話の利用から性被害に及んだケースを知らせ、体や命の危険につながっていることを意識できるようにする。(資料3)



- ・学習カードを配付し、書く活動を通して考えを深める。

展

開

**携帯電話は、使い方によっては事件や事故につながるがあるので、お母さんはまる子の安全を考えて携帯電話を持たせるかどうか迷っていたんだね。**

終

教師の説話

携帯電話を使う時の注意が掲載されているホームページ等の資料を基に、考えを深める。

- ・出会い系サイトによる被害についての資料を紹介する。(資料4)

末

## 6 資 料

### 【資料1】読み物資料 (自作資料)

### お母さんの迷い

お母さんは、迷っていました。

お母さんは、もうすぐ中学一年生になるまる子に、携帯を持たせようと思っていました。

小学生のときは、お母さんが車を運転していて携帯に出られないときや、どうしても連絡をとらなければならないときに、お母さんの携帯を貸して使わせていました。

先日、中学で着る新しい制服を買いに行ったとき、まる子が言いました。

「お母さん、まる子中学生になったら、私専用の携帯がほしいな……。だって、みんなも持ち始めるみたいだし、中学に入ったら塾も夜遅くなるし、お母さんも、連絡が取れて安心でしょ？それに、友達が言っていたけど、とっても楽しいサイトもあるらしいんだ……。」

お母さんは、持たせてもいいかな？と迷っていました。まる子の言うとおり、便利だし、安心だし……。そう思っていたある日、こんなテレビニュースを見ました。

出会い系サイトで知り合った大人の男性二人に、13才の女の子が、言葉たくみに呼び出され、車に乗せられて連れ去られる事件がありました。

初めは、出会い系サイトからのメールがきっかけで、好奇心から女の子が返事をし、何回かメールのやりとり……

このようなひがいの者の80パーセント以上が18才未満で、その多くが女の子です。心や体に傷を負ってしまった子が増えています……


お母さんは、まる子に携帯を持たせるのがよいのか、迷ってしまいました。

次の週、お母さんは、真新しい携帯を手にも、まる子呼びました。

「なあに、お母さん？」

「はい、これまる子の携帯よ。まる子、あのね……。」

お母さんは、まる子に話を続けました。



※資料の終末部分をマスキングして提示する取り上げ方も考えられる。

### 【資料2】データ

携帯電話の所有率		子供に携帯電話を持たせた理由	
・小学生低学年	16.7%	・緊急時に連絡が取れるように	56.7%
・小学生高学年	30.5%	・塾等からの帰宅時間を連絡させるため	22.7%
・中学生	69.1%	・子供にねだられるから	7.8%
・高校生	94.7%	・親子のコミュニケーションツールとして	6.4%
		・子供の友達が持っているから	5.7%
		・その他	0.7%


(株)サーベイリサーチセンター 「子供の携帯電話の利用について」 調査結果 2005.2)

### 【資料3】携帯電話の利用から性被害に及んだケース


- 17歳の女子高生は、出会い系サイトで知り合った男性2名に3日間アパートに監禁されて性被害を受けた。
- 17歳の女子高生は、出会い系サイトで知り合った男性との交際を断ったところ、「身元は分かっている。絶対殺しに行く。」と脅迫された。

(北海道警察本部ホームページ～出会い系サイトは危険がいっぱい 2005)


【資料4】教師の説話

 こうきしんで近づくとよくないよ。

「出会いけいサイト」とは、見知らぬ人どうしがメールをこうかんして知り合いになるサイトのこと。はじめに、知らない人からさそいのメールがとどき、サイトを開いて気に入った人と知り合いになる仕組みになっている。友だちを作れて楽しいと思うかもしれないけど、はじめから悪いことをしようとメールを送ってくる人もいる。こうきしんで近づいて事件にまきこまれないよう注意が必要だね。

 ひがいの多くが18歳未満の女子。

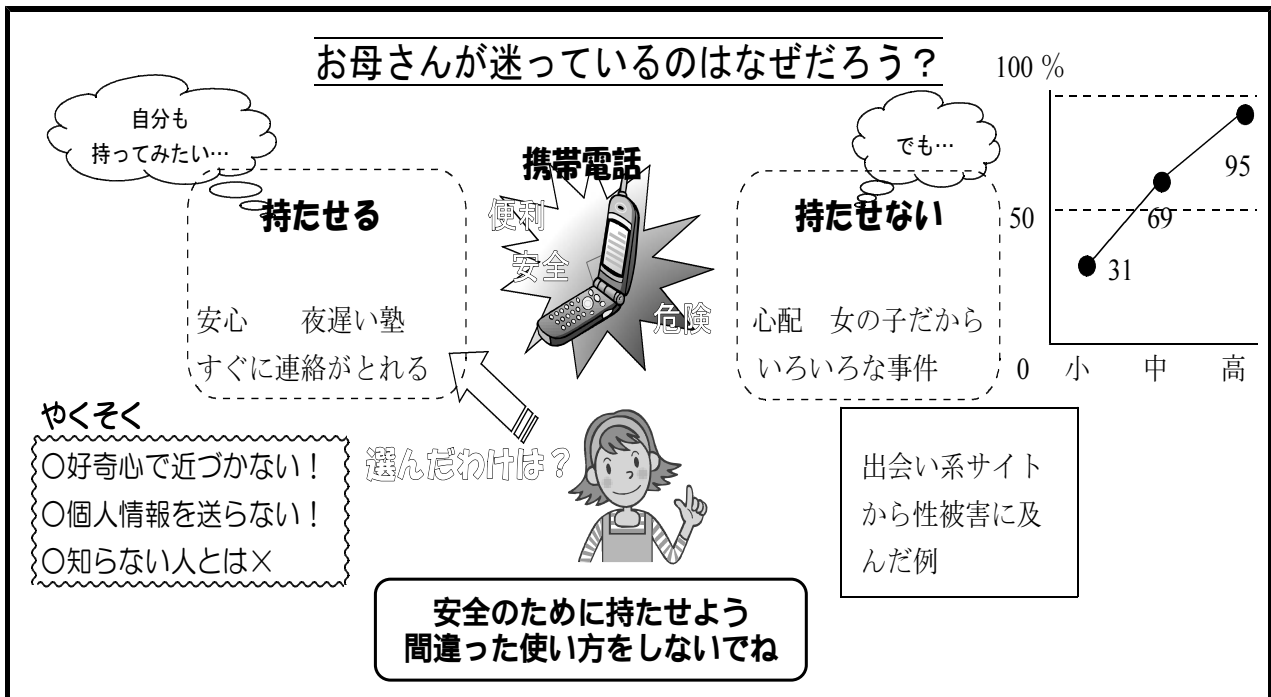
ひがいの80%以上が18歳未満。その多くが女子で、わいせつなことをされたり、お金をぬすまれたりといった事件にまきこまれている。心のきずをおおてしまった人もたくさんいるよ。

 個人情報を送らない、知らない人のメールを信用しない。

出会いけいサイトに自分の本名や電話番号などの個人情報を公開したりしないでね。どんな人が見ているかわからないよ。また出会いけいサイトでメールこうかんした人が、いつも本当のことを書いているとは限らない。中には、人をだまそうとしてうそをつく人もいるから、メールを信用して知らない人に会いに行くのはあぶないよ。

(ドコモ モバイルひろば for kids ホームページ～「出会い系サイト」って知っているかな? 2005)

【資料5】坂書例



【資料6】情報モラルの指導について

- ・札幌市教育委員会ホームページ (<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/sidou/jyouhoumoraru/mokuzi.html>)
- ・札幌市立学校ネットワーク「市立学校専用ページ」(<http://www2>) 「やさしいネチケット」